

審議会等の会議結果報告書

課所名

生涯学習課文化センター

会議名 第8回諏訪市文化センター運営検討委員会

開催日時 令和8年2月5日(木) 17時30分～18時45分

開催場所 諏訪市公民館 視聴覚室

出席者 【出席者】高見 俊樹委員長、石城 正志副委員長、中島 昌之委員、宮嶋 孝枝委員、牛越 雅紀委員、河西 風花委員、花岡 日珠委員、金子 雄二委員、石田 名保子委員、宮坂 寿子委員
三輪教育長、細野教育次長、小林課長、関沢館長、福田主査
今井みどり教育委員(オブザーバー)

【欠席者】二村 悟委員、木村 修子委員、三澤 凜委員、山田 佳子委員

【傍聴者】一般 1名、新聞記者 2社

資料 資料①: 第8回諏訪市文化センター運営検討委員会 次第
資料②: 第8回諏訪市文化センター運営検討委員会 説明資料
参考資料: 第7回諏訪市文化センター運営検討委員会 会議録

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1、開会

2、教育長あいさつ

3、会議事項

(1)前回のふりかえりについて

(2)情報共有について

(3)運営方針・体制について

<質疑・意見>

○委員

- ・貸館事業をリニューアル後の諏訪市文化センターでも活発に行っていきたいとすれば、ホールの貸館事業には必ず専門スタッフも関わるべきではないかと思う。
- ・管理運営の方針について、ホール活用というよりはホワイエ部分の活用を中心に進めていくということなのかという感想を持った。

(事務局)

- ・以前も専門スタッフがいると安心できるというご意見をいただいたが、ホールを使う中で手厚いスタッフ体制が必要だということは認識している。
- ・運営方針については、「伝統芸能など優れた文化芸術に親しむことができる拠点づくり」というところに関して、ホールの活用の視点が入っていると考えている。

○委員

- ・他施設を利用する中で、ステージに花道がなかったり、袖幕がなかったりしたので、ウォーキングの構成を組むのが難しかった。リニューアル後も花道や袖幕があった方が良いと思う。また、ステージの上でヒールを履く場合はクッションをつけるような指示があった。リニューアル後はそういう手間がなくせるような工夫があったら

良いと思った。あわせて、舞台袖に大きい姿見の鏡があると嬉しい。

(事務局)

- ・リニューアル後も従来と同じく花道や袖幕を活用していきたい。
- ・当然ステージも綺麗になるので利用者が使いやすいような利用規則や運営を検討していきたい。

○委員

- ・運営主体について、近隣で指定管理に出している施設があると思うが、うまく機能しているのか、またどう評価しているのかをお聞きしたい。

(事務局)

- ・現状ではヒアリングはしていないが、コストの面や満足度など様々な基準を考慮しながら今後検討していきたい。

○委員

- ・自主事業の中にある「広報・営業」について、観光業界と一緒にプロモーションするなどしていければ文化センターが変わっていくのではと思っている。運営方針の中に外に発信していく力などを加えながら、情報発信について新たなスタッフを付けるなどして一緒にPRできれば良いと思っている。

○委員

- ・文化センターの中にイベントの企画や運営を行うボランティアの学生団体を入れてみてはどうか。最近勉強だけでなく自己PRをして推薦で大学に入学する生徒が増えてきている中で、ボランティアや地域交流の場を高校生に提供できれば学生のPRの素材にもなるのではないか。

○委員

- ・自主事業について、地域の人や親子、学生などを呼んで、その人たちの意見を反映させるという企画立案自体をイベントにしてしまうのも良いのではと思った。

○委員

- ・専門スタッフの配置・育成について、文化センターの活動を通じて市民を専門スタッフになりうる人として育成していくために運営体制を検討していくことが重要だと思う。
- ・近隣施設では市民が企画立案し、審査が通ると減免されるなどの制度がある。市民が思いを形にする仕組みや専門性を持った人がサポートしてくれるなどの体制が大切。
- ・市内にある3施設(市文化センター、すわっちゃオ、いきいき元気館)の役割分担を明確にすることがより良く機能することにつながると思う。例えば、図書館とすわっちゃオには学生が静かに勉強するスペースがあるが、学生がミーティングしたりお喋りしたりするようなスペースがない。どの施設にどの機能を持たすのかの検討が重要。

○委員

- ・現状として舞台スタッフの人材不足が著しく、全国的な問題となっている。近隣施設では、他市町村の限られた舞台専門の業者に依頼しないと体制的に回らない状況とのこと。
- ・将来的に市民が照明や音響をできる体制など、育成という視点はとても素晴らしいことだと思う。

○委員

- ・専門スタッフは安全性の確保など責任を伴うので、組織としてきちんと委託するのか、常駐するのかなど決めていく必要があると思う。

○委員

- ・指定管理について、利用料金制を取るかどうかなども焦点の一つになると思う。コロナのような外的要因で入館料が無くなるというような事例もあったので、指定管理の方式については、一部委託なども含めて検討していただきたい。

4. その他

(事務局)

- ・次回は令和7年度委員会のまとめと、今回いただいたご意見をもとにビジョン・運営方針を整理した結果を議題としたい。
- ・日程については、事務局で調整をさせていただいた上で、別途通知させていただく。
- ・委員の任期は令和8年7月28日までであるので、来年度の委員会の予定については、次回の委員会でお伝えできればと思う。

5、閉会